

東白川村 美しい村づくり 委員会

第二回

- 場所：役場 3 階会議室
- 時期：平成 28 年 4 月 14 日 19：30～21：30
- 参加者：委員 8 名 行政 5 名

【委員会の理念について】

委員の方から以下のような意見ができました。

共通キーワード：「村に誇りを持つ」「人づくり」

- ◇そもそも美しい村連合はどのような目的でなぜ出来たのか調べると、地域に誇りを持ち住民の手で創り景観や文化、経済を活性化させていくことにあった。美しい村連合の理念に沿ったものが良いのではと感じた。
- ◇人の優しい心こそが美しい村に繋がる。優しさや元気、笑顔を持った人が村に多くなることが理想。まずはソフト面での村づくりをしたい。
- ◇小さいけれど強いコミュニティが村の魅力だと感じている。お祭りなどのイベントに村全体が一生懸命な姿を見て、もっと多くの人が村に来てほしいと思う。
- ◇村民が活躍できるように支え、想いを拾い上げられるような仕組みづくりをしたい。村民 2400 人が総活躍という形が理想。顔が見える関係で意見を出す場をつくってあげたい。
- ◇意見を吸い取るだけでなく小さなことでも活動に移す、実効性の高い委員会でありたい。
- ◇理念を今決めるよりは、委員会の回数を重ねるごとに本質が見えてくると思う。
- ◇美しい村＝景観をイメージする。昔は盛んだった茶業も低迷しており、農地がどんどん放棄化している。その変化が不安で切ない。もっと暮らしやすい村に

なることを望んでいる。

理念に関しては現時点で委員の想いそれぞれを集めて絞ることは難しいため、方向性を決めていくこととしました。委員会を何度か行っていくうちに想いも増えて方向性が固まり、理念も見えてくると考えました。

【アイデアだし】

これから話し合うテーマのアイデアについて以下の意見がでました。

- ・耕作放棄地
- ・景観、ビュースポット
- ・どうやって人を呼び込み、商売に繋げるか
- ・観光
- ・農林業
- ・こども
- ・村外にいる村出身の子どもたちの未来（Uターン）
- ・村の経済
- ・遊び、レクリエーション
- ・生き方、幸せとは
- ・昔の暮らしに戻っていきたい（農業や味噌作りなどのワークショップ）
- ・「〇〇〇〇の東白川村」と言えるような魅力探し
- ・次世代のために何を残してあげられるのか
- ・移住者を増やすためには
- ・ふるさと教育
- ・村の伝説、おもしろスポット
- ・地域活動

理念と同様でテーマに関しても現時点では絞り切れないため、委員会の回数を重ねるごとにテーマも固めていき、実効性のあるものにしていこうという結論となりました。まずは自分達が動いてみて村を知り魅力を見つけていき、地域を歩き回ってみることで誇りに思えるモノを探すことを目的とします。

